



プレーパークニュース

NO. 5

第3回プレーパーク講演会「ごちゃまぜの遊び場作り ～母親から見たプレーパーク～」を開催しました!

- ◆日時 令和3年11月20日(土)午後1時30分から午後3時30分まで
- ◆場所 長久手市平成こども塾
- ◆定員 20人(子ども含む)
- ◆参加者 大人9人、子ども2人、幼児4人 計15人(当日キャンセル5人)

講師紹介

講師 つかもと えみ 塚本絵美さん(ニックネーム:エミちゃん) つかもと たけし 塚本岳さん(ニックネーム:ガクちゃん)



森のようちえん「こそあどの森」を立ち上げる。「えみちゃん」の愛称で皆に親しまれている。

- ・愛知県刈谷市在住 三姉妹の母
- ・市民活動団体「リトルハウス」代表
- ・森のようちえん「こそあどの森」園長



プレーパークや子ども遊びのエキスパート。「がくちゃん」の愛称で皆に親しまれている。

- ・(特)日本冒険遊び場づくり協会 地域運営委員 東海担当
- ・名古屋市みどり児童館館長(こどもNPO)
- ・あいち森のようちえんネットワーク 代表

講演会の内容(まとめ)

1 「子どもの遊びをとりまく現状」(塚本岳氏講演)

- ・現代の子どもの遊び環境
→ ※さんま 三間の減少、少子化、過干渉

さんま ※三間とは→ 時間、空間、仲間

- ・ 社会の変化
→ 役割を分担することでのリスク回避
- ・ 子どもが自ら育っていけるような社会になるためには
→ 地域に自由な遊び環境を

2 「子どもを真ん中におきつつ、母親も楽しみながらの子育てを！」(塚本絵美氏講演)

【活動のきっかけ】

- ・ 自分自身自然の中で育ってきて、職業としての保育も経験してきた。
我が子が生まれていざ子育てとなったが、産後うつも経験し、自分の思う自由にのびのびと子育てできる環境がないことに気づく。そこで長女が0歳の時にパートナーと共に休日の誰でも参加できる遊び場「よさみプレーパーク」を2012年から地元で始める。そして、2013年「小さなお庭」をちびちゃん版プレーパークとして始める。
- ・ そこで出会った仲間たちと共に我が子の成長に合わせて、平日に幼児親子が集まることができる場として、既存の幼・保育園と同じ年代の子を対象に2017年森のようちえん(こそあどの森)を開設する。
- ・ 「ここに来れば誰かいる。だから来た！」
→ 母親や子どもにとってプレーパークは、居場所としての機能も持つ。
→ ごちゃまぜの子育て。助け合い。

3 なぜ「遊び」が必要か

- ・ 「遊び」は、子どもにとっては食べること、寝ることと同じように生きていくために必要なこと。そして人間には発達段階があり、小さい時にこそ獲得すべきものがある。



子どもの遊び風景(例)

【遊ぶことは、子どもの権利
(子どもの権利条約第31条)】

4 なぜ「外遊び」か

- ・ 外、自然には刺激がいっぱいで、子どもに与える影響は室内と屋外では雲泥の差がある。
- ・ 子どもが遊ぶのに必要な要素 = 物的環境と人的環境
- ・ 自然は子どもにとって一番の先生である。
- ・ 外にいと怒らないでいられる。→いろいろな人と繋がることができる。

プレーパークは、子どもや親の居場所にもなっている。



5 参加者ではなく「仲間」

- ・ 参加者はいない。「支援者、被支援者」ではなく「仲間」
- ・ サービスの担い手と受け手という関係ではなく、母親（父親）みんなが当事者として、自分の子どものみでなく、全ての子どもたちが自由に育ち自ら伸びていけるような環境を作っている。→ **ごちゃまぜの遊び場作り**

6 大事にしていること

- ・ 自然環境を身近に感じて子育てしたい。
- ・ 同じ想いの仲間を作りたい。
- ・ 子どもの「やりたい」「気づき」を大事に見守りたい。
- ・ 大人も^{※ともそだ}**共育ち!**
- ・ 学校では「教育」（教えて育てる）だが、放課後・家庭では「遊育」（遊んで自ら育つこと）が望ましい。

※「^{子ども}共育ち」とは
→ いろいろな人の手を借りながら共に子どもを育てることで、子どもだけでなく、親も支援者も、そしてそれを取り巻く地域や社会も共に育つこと。



プレーパーク風景(例)



森のようちえん風景(例)



参加者感想

- ・ 長久手にプレーパークを作ることがあれば手伝いたい。
- ・ 絵美さんの想いを知ることができて良かった。プレーパークに行ってみたくなった。
- ・ 内容が把握でき、魅力もきちんと知ることができた。講演には満足したが、実際に体験できたらより良いと思った。
- ・ 「遊育」がやはり大切だと思うようになった。これからも子どもとたくさん遊ぼうと思った。
- ・ プレーパークに参加したいと思った。

講演会の様子

講演会風景



【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾
☎ 0561-64-0045 email kodomojuku@nagakute.aichi.jp